



1. IFMIF/EVEDA の事業委員会開催

10月28日、29日に、青森県六ヶ所村の青森研究開発センターにおいて第3回 IFMIF/EVEDA 事業委員会が開催された(図1)。事業委員会メンバーは高津英幸議長を含め4名が、IFMIF/EVEDA 事業チームはギャラン事業長をはじめ8名が、また日欧の専門家8名が出席した。

今回の事業委員会では主に2009年の作業計画について議論され、12月にドイツで開催される BA 運営委員会に提案することが了解された。次回の事業委員会も、来年3月24日、25日に六ヶ所村で開催の予定である。

2. 第16回環太平洋原子力会議に BA のブースを出展

10月13日～18日、青森市文化会館で各国の原子力関係者が集い、環太平洋地域をはじめとする世界各国・地域の原子力平和利用開発の一層の推進と原子力技術の有用性に対する理解促進を目的とし、第16回環太平洋原子力会議が開かれた。

原子力機構は幅広いアプローチ活動の紹介ブースを出展し、六ヶ所 BA サイトのレイアウト模型や説明パネルなどを展示し、参加者へ幅広いアプローチ活動の説明等を行い、理解促進を図った。

3. BA サイトでの建設工事状況

六ヶ所村の BA サイトでは管理研究棟の外装、内装工事が始まり、IFMIF/EVEDA 開発試験棟の建屋基礎の工事も本格化している(図2参照)。計算機・遠隔実験棟の基礎工事も完了し鉄骨の組立が進んでいる。原型炉 R&D 棟は基礎工事を行っている。

六ヶ所村では11月19日に初雪が降り、本格的な冬の訪れも間近になった。BA サイトでの建設工事は管理研究棟を除いて、1月～2月末まではほとんど休止状態となる予定である。

日本原子力研究開発機構 核融合研究開発部門



図1 IFMIF/EVEDA 事業委員会 (平成20年10月29日)



図2 六ヶ所 BA サイト近況 (平成20年11月24日撮影)
(左:外装、内装工事の進む管理研究棟, 右:基礎工事が進む IFMIF/EVEDA 開発試験棟)